

報告書作成に係る全体の注意事項

1. 本報告書は、平成22年5月1日現在で作成してください。
2. 様式中の項目にある注書きは削除せず、記載したままにしてください。
3. 全ページ通しページを付すとともに、表紙の次に目次を入れてください。
4. 項目ごとにインデックス（番号のみ）を貼付してください。
5. 本報告書は、A4サイズ縦型、両面印刷、左上とし、左側2穴空けとしてください。（背表紙などは不要です。）
6. 原則として、「設置区分」ごとに報告書を作成してください。
（ただし、記載内容の重複を考慮して、同じ開設年度に複数の学科を同じ学部を設置した場合な記載内容の重複を考慮して、複数の「設置区分」の学部等をまとめて1つの報告書で提出してもかまいません。）

届出

[平成22年度設置]

計画の区分：学科の設置

注1

静岡福祉大学 社会福祉学部 健康福祉学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 静岡精華学園
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 シムフチョウツケ タントウキョクインサイゴウマナブ
事務部長 付 担当職員 西郷 学

電話番号 054-623-7000

（夜間） 054-623-7000

F A X 054-623-7453

e-mail m.saigo@suw.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 静岡精華学園

(2) 大学名

静 岡 福 祉 大 学

(3) 大学の位置

〒425-8611
静岡県焼津市本中根549番1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	モチ ツキ ケイ ジ 望 月 圭 二 (平成21年4月1日)		
学 長	カ トウ カズ オ 加 藤 一 夫 (平成21年4月1日)	クチノマチ ヤス オ 口ノ町 康 夫 (平成22年4月1日)	任期満了による変更(22)
学 部 長	スギ モト ヨシ ユキ 杉 本 好 行 (平成21年4月1日)	ヒラ イ トシ アキ 平 井 利 明 (平成22年4月1日)	前任者退職による変更(22)
学 科 長 等	オオ タ ハル ヤス 太 田 晴 康 (平成21年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
社会福祉学部 健康福祉学科 学士(健康福祉学)	4年	60人	3年次 5人	250人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度				平均入学定員超過率	備 考
	平成21年度	平成22年度				
A 入学定員	(-) 60人	(-) 60人	()人	()人	0.85倍	
志願者数	(-) 57	(-) 87	()	()		
受験者数	(-) 50	(-) 86	()	()		
合格者数	(-) 50	(-) 84	()	()		
B 入学者数	(-) 41	(-) 61	()	()		
入学定員超過率 B/A	(-) 0.68	(-) 1.01	()	()		

- (注) ・ () 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成19~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度				備 考
	平成21年度	平成22年度			
1年次	[-] 55	[-] 61	[]	[]	
2年次	/	[-] 52	[]	[]	
3年次	/	/	[]	[]	
4年次	/	/	/	[]	
計	[-] 55	[-] 113	[]	[]	

- (注) ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 0 [-]	(累積)計 55 [-]	[- %]
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 55人	0 %
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 3 [-]	(累積)計 113 [-]	[- %]
	うち平成21年度入学者 3人	うち平成21年度 52人	2.7 %
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 61人	
	(主な退学理由)		
学生個人の心身に関する事情			
平成23年度	計 []	(累積)計 []	[%]
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	%]
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
(主な退学理由)			
平成24年度	計 []	(累積)計 []	[%]
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	%]
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	平成24年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	憲法と現代	2単位	1年	一般	選択	担当者の急な退職による。代替措置無し
2						
3						

(注)・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「憲法と現代」 担当者の病気による急な退職のため、止むを得ず未開講とした。
学生に対する周知は、新年度オリエンテーション期間中に行った。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0\%}$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	貸与者：焼津市 ()部分を貸与 試用期間 平成13年から20年間	
	校舎敷地	21,384.75 (3,202.10) m ²	m ²	m ²	21,384.75 (3,202.10) m ²		
	運動場用地	12,011.00 (12,011.00) m ²	m ²	m ²	12,011.00 (12,011.00) m ²		
	小 計	33,395.75 (15,213.10) m ²	m ²	m ²	33,395.75 (15,213.10) m ²		
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²		
	合 計	33,395.75 (15,213.10) m ²	m ²	m ²	33,395.75 (15,213.10) m ²		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
		11,189.98m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	11,189.98m ² (m ²)		
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
		16室	4室	7室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)	
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		専任教員退職の為 (22)	
		社会福祉学部 健康福祉学科		14 15 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点
	社会福祉学部	33,555 [1,727] (33,555 [1,727])	49 [0] (49 [0])	0 [0] (0 [0])	(967)	(-)	(-)
	計	33,555 [1,727] (33,555 [1,727])	49 [0] (49 [0])	0 [0] (0 [0])	(967)	(-)	(-)
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		
		545.06m ²		118席	28,694冊		
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			
		12,011.00m ²		テニスコート (2面)		グラウンド	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	320千円	320千円	図書購入費	150千円	150千円
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	2,000千円	1,000千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		1,250千円	1,250千円	1,250千円	1,250千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		入学検定料、資産運用収入等を充当					

(注) ・届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

- ・「(3) 教室等」「(5) 図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等(平成20年度届出以前)については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成22年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。届出時に数値を記載した学部等(平成21年度届出以降)については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成22年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	静岡福祉大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
社会福祉学部 福祉心理学科	4	80	3年次	330	学士 福祉心理学	1.25	平成16年度	静岡県焼津市 本中根549-1	
福祉情報学科	4	—	—	—	学士 福祉情報学	—	平成16年度	静岡県焼津市 本中根549-1	平成21年度より 学生募集停止
大学の名称	短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・設置届出書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	高 橋 紘	病気による退職（22）
2			
3			

（注）・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当者の病気による退職のため、止むを得ずの教員交代となった。（22）
学生に対する周知は、新年度オリエンテーション期間中に行った。（22）

（注）・上記（3）の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	「該当なし」		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<社会福祉学部 健康福祉学科>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 124単位 必修科目6単位、選択科目118単位 ② 施設・設備 a 講義室16室 (1,750.96㎡) ※社会福祉学部全体 b 図書 33,500冊	① 届出時からの変更なし ② 健康福祉学科設置に伴い、「健康トレーニング室」を設置 ※講義に必要な機器・備品を整備 (21) 今後図書館の蔵書については、計画的に充実していく。

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 四年制大学開学(平成16年)から、FD委員会を設置している。(規程等:別添) b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 委員会開催状況:(H21.4.28、H21.5.19) 委員は、(H21教職員12人、H22教職員11人)講義と重複の教員を除き、毎回10人前後が出席している。 c 委員会の審議事項等 平成21年度は、学生の授業評価アンケート内容について、検討・改善を実施した。 教養教育の充実を図るためにカリキュラムの改訂を実施した。 ② 実施状況 a 実施内容 ・授業評価アンケート用紙(内容)の見直し ・授業評価アンケートの実施(実施後に、学生に対し授業内容の改善点をフィードバック) ・教員相互の授業参観(自由に実施している) ・教養購読A～教養購読D(4科目)を新たに開設した。 b 実施方法 ・アンケートは、授業時間中に実施している。 c 開催状況(教員の参加状況含む) ・アンケートは全教員が、年間2回(前期・後期各1回)全ての授業で実施している。 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・大学全体の授業改善や学生に対する学習支援に生かしている。また、資格取得に対する特別講座の開講やカリキュラム検討は教務委員会と連動して見直しを実施している。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

健康福祉学科の出発点である「介護福祉教育の高度化」、あるいは健康と運動処方に関する高度な知識を学ぶ教育内容に合致する学生確保を実現した。一年生科目は予定通り実施しており、二年生科目についても予定科目を計画通り開講している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成22年4月1日 公表済

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を作成した。（平成21年6月）
- ・自己評価報告書を、大学ホームページ上に公開済（平成22年4月1日）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成21年10月に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受け、平成22年3月に大学評価基準を満たしていることが認定された。期間：（平成21年4月1日～平成28年3月31日）

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成 22 年 6 月 1 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.suw.ac.jp/lib/file/kenko_hukusi2010.pdf)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

2 教育課程等の概要

<社会福祉学部 健康福祉学科>
(2) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教	講師	助教	助手		
外国語科目	英語A	1前		2			2 +	+				職位の変更(22)
	英語B	1後		2			2 +	+				職位の変更(22)
	英語C	2前		2			1	+				職位の変更(22)
	英語D	2後		2			1	+				職位の変更(22)
	英語コミュニケーションA	1前		2								
	英語コミュニケーションB	1後		2								
	英語コミュニケーションC	2前		2								
	英語コミュニケーションD	2後		2								
	中国語A	1前		2		1						
	中国語B	1後		2		1						
	韓国語A	1前		2								
	韓国語B	1後		2								
基礎科目	憲法と現代	1前		2		1						時間割配当の都合上、1年後期から1年前期に変更(21)
		1後										
	現代日本の経済	2後		2								時間割配当の都合上、1年前期から1年後期に変更(21)
		2前										
	国際社会と政治	3後		2		1						
	日本国憲法	1後		1								
	日本史	1前		2		1						
	外国史	1後		2		1						
	比較文化論	1前		2		1						
	日本現代社会論	1後		2		1						
	日本現代文化論	1前		2		1						
	文学A	2前		2			1					
	文学B	2後		2			1					
	日本語表現法A	1前		2			1					
	日本語表現法B	1後		2			1					
	日本事情A	1前		2		1						
	日本事情B	1後		2		1						
	生活と健康	1前		2				1				
	スポーツ実習	1通		2				1				
	レクリエーション実習	2後		1				1				
	環境科学	1後		2		1						
	統計学の基礎	1前		2				1				
	自然科学の基礎	1前		2				1				
	生命と倫理	1後		2								
	簿記会計の基礎	1後		2								
	家政学	1前		2		1						
	会計学の基礎	1後		2								
	経営管理の基礎	1前		2				1				
	経営管理の応用	1後		2				1				
	経営学総論	2前		2				1				
	教養購読A	3前		2		2	3	2				教養教育の充実を図るため、科目を追加(22)
	教養購読B	3後		2		2	3	2				担当 小田部雄次(教授)、戸田裕司(教授)、向山守(准教授)
	教養購読C	4前		2		2	3	2				角谷裕子(准教授)、牧野茂(准教授)、岡澤裕子(講師)
教養購読D	4後		2		2	3	2				岩本勇(講師)	
キャリア支援Ⅰ	1通	2				2	1				教員退職に伴い、科目をクラス分け分担	
キャリア支援Ⅱ	2通	2				+					担当 小田部雄次(教授)、戸田裕司(教授)、向山守(准教授)	
キャリア支援Ⅲ	3通	2										
基盤情報科目	情報リテラシー	1前		2				1				
	コンピュータシステムA	1前		2			1	+				職位の変更(22)
	コンピュータシステムB	1後		2			1	+				職位の変更(22)
	情報社会と倫理	1前		2		1	+					職位の変更(22)
	マルチメディア表現演習A	1後		2		1	+					職位の変更(22)
	マルチメディア表現演習B	2前		2		1	+					職位の変更(22)
	情報と職業	2後		2		1	+					職位の変更(22)
	情報化と経営	3前		2		1	+					職位の変更(22)
	図形画像処理演習A	3前		2			1	+				職位の変更(22)
	図形画像処理演習B	3後		2			1	+				職位の変更(22)

専門科目	社会福祉科目 (I群)	現代社会と福祉A	1前	2	1						
		現代社会と福祉B	1後	2	1						
		社会理論と社会システム	1後	2	1						
		心理学理論と心理的支援	1前	2		1	-1				職位の変更(22)
		人体の構造と機能及び疾病	1前	2	1						
		社会調査の基礎	3前	2				1			
		相談援助の基盤と専門職A	1前	2	1						
		相談援助の基盤と専門職B	1後	2	1						
		相談援助の理論と方法A	2前	2	1						
		相談援助の理論と方法B	2後	2	1						
		相談援助の理論と方法C	3前	2							
		相談援助の理論と方法D	3後	2							
		地域福祉の理論と方法A	2前	2	-1	1					新教員を採用(21)、担当 清水将一(准教授)
		地域福祉の理論と方法B	2後	2	-1	1					新教員を採用(21)、担当 清水将一(准教授)
		福祉行財政と福祉計画	3後	2	1						
		福祉サービスの組織と経営	3前	2	1						
		社会保障A	2前	2	1						
		社会保障B	2後	2	1						
		高齢者福祉サービス	2前	2	1						
		介護福祉	2後	2	1						
	障害者福祉サービス	2前	2	1							
	児童・家庭福祉サービス	2前	2		1						
	生活保護	2後	2								
	保健医療サービス	3前	2				1				
	権利擁護と成年後見制度	3後	2								
	更生保護と就労支援	3後	2	1		1					
	相談援助演習A	1後	2	3	2					受講希望学生増加によるクラス数増により教員を追加(22)、担当 中野いずみ(教授)	
				-2						受講希望学生増加によるクラス数増により教員を追加(21)	
				-1	-1	-1	1			担当 鈴木武幸(教授)	
	相談援助演習B	2前	2	3	2					受講希望学生増加によるクラス数増により教員を追加(22)、担当 中野いずみ(教授)	
				-2						受講希望学生増加によるクラス数増により教員を追加(21)	
				-1	-1	-1	1			担当 鈴木武幸(教授)	
	相談援助演習C	2後	2	3	2					受講希望学生増加によるクラス数増により教員を追加(22)、担当 中野いずみ(教授)	
				-2						受講希望学生増加によるクラス数増により教員を追加(21)	
				-1	-1	1	1			担当 鈴木武幸(教授)	
	相談援助演習D	3前	2	2	1	1	1				
	相談援助演習E	3後	2	2	1	1	1				
	相談援助実習指導	3通・4前	6	2	1	2	1				
	相談援助実習	3通	6	2	1	2	1				
	社会福祉科目 (II群)	少子化社会と社会福祉	1後	2	1						
ボランティア論		1後	2								
子ども家庭福祉		2前	2		1						
日本近代福祉史		2後	2	1							
児童思春期精神保健		2前	2								
小児保健A		1後	2								
小児保健B		2前	2								
子どもと食生活A		1後	2	1							
子どもと食生活B		2前	2	1							
福祉対話技法A		2前	2								
福祉対話技法B		2後	2								
福祉対話技法C		3前	2								
福祉対話技法D		3後	2								
ケアマネジメント論A	3前	2	1								
ケアマネジメント論B	3後	2	1								
社会福祉総合演習	4通	4	1			1					

専門科目	介護福祉科目 (I群)	人間の尊厳と自立	1前	2		1					
		人間関係とコミュニケーション	2前	2			1				
		社会の理解A	1後	2		1					
		社会の理解B	2前	2		1					
		発達と老化の理解A	2前	2			1				
		発達と老化の理解B	2後	2			1				
		認知症の理解A	2前	2			1				
		認知症の理解B	2後	2			1				
		障害の理解A	2前	2			1				
		障害の理解B	2後	2			1				
		こころとからだのしくみA	1前	2			1				
		こころとからだのしくみB	1後	2			1				
		こころとからだのしくみC	2前	2			1				
		こころとからだのしくみD	2後	2			1				
		介護の基本 I	1通	4		1					
		介護の基本 II	1通	4			1				
		介護の基本 III	2通	4		1					
		コミュニケーション技術A	2前	2			1				
		コミュニケーション技術B	2後	2			1				
	生活支援技術A	1前	1		1						
	生活支援技術B	1前	1			1					
	生活支援技術C	1前	1			1					
	生活支援技術D	1前	1			1					
	生活支援技術E	1後	1		-+	1				教員の担当分野変更による(22)、担当 中野一茂(講師)	
	生活支援技術F	1後	1			-+	1			教員の担当分野変更による(22)、担当 前川有希子(助教)	
	生活支援技術G	1後	1			-+	1			教員の担当分野変更による(22)、担当 前川有希子(助教)	
	生活支援技術H	1後	1			1					
	生活支援技術I	2前	1			1					
	生活支援技術J	2前	1			1					
	介護過程A	2前	2		1						
	介護過程B	2後	2		1						
	介護過程C	3前	2			1					
	介護過程D	3前	2			1					
	介護過程E	3後	2			1					
	介護総合演習A	1後	1		1	3	1			受講希望学生増加によるクラス数増により教員を追加(22)、担当 前川有希子(助教)	
	介護総合演習B	2前	1		1	3	1			受講希望学生増加によるクラス数増により教員を追加(22)、担当 前川有希子(助教)	
	介護総合演習C	2後	1		1	3	1			受講希望学生増加によるクラス数増により教員を追加(22)、担当 前川有希子(助教)	
	介護総合演習D	3前	1		1	3					
	介護福祉実習 I	1通	2		1	3	1			受講希望学生増加によるクラス数増により教員を追加(22)、担当 前川有希子(助教)	
	介護福祉実習 II	2通	5		1	3	1			受講希望学生増加によるクラス数増により教員を追加(22)、担当 前川有希子(助教)	
	介護福祉実習 III	3通	7		1	3					
	健康福祉科目	健康科学概論	1前	2		1					教育内容充実のため教授に変更(21)、担当 中田健次郎(教授)
		健康管理概論	1後	2		1					教育内容充実のため教授に変更(21)、担当 中田健次郎(教授)
		健康スポーツ実習A	1後	1			-+				講義内容の専門家を新たに依頼、兼任教員が担当(22)
健康スポーツ実習B		2前	1								
健康スポーツ実習C		2集中	1								
健康スポーツ実習D		2後	1			-+				講義内容の専門家を新たに依頼、兼任教員が担当(22)	
心身の健康		2前	2		-+					講義内容の専門家を新たに依頼、兼任教員が担当(22)	
健康トレーニング論		2後	2		1						
健康生理学		2後	2			1	-+			職位の変更(21)	
健康と生活環境		2前	2		1						
健康と食生活		2後	2		1						
発育・発達論		2前	2								
健康トレーニング実習		3前	2		1						
機能解剖学		3通	2								
高齢者福祉工学		3前	2		1						
健康と食生活演習		3後	2		1						
健康と生活実習		3前	1		1						
健康産業学		3前	2			1					
健康と代替医療		3前	2			1					
生涯スポーツ演習		3後	2			1					
健康福祉総合演習	4通	4		1	1						
卒業研究	卒業研究 I	3		4	4	3					
	卒業研究 II	4		4	4	3					

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
6	160	0	166	6	164	0	170	
				[-]	[4]	[-]	[4]	

5 教員組織の状況

<社会福祉学部 健康福祉学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	太田晴康(58)	平成21年4月	障害者福祉サービス 更生保護と就労支援 相談援助実習指導 相談援助実習 社会福祉総合演習 卒業研究 I 卒業研究 II					相談援助演習A 相談援助演習B 相談援助演習C	担当科目の追加 (21)
専	教授	口ノ町康夫(66)	平成21年4月	高齢者福祉工学						
専	教授	松下育夫(60)	平成21年4月	社会倫理と社会システム 社会保障A 社会保障B 少子化社会と社会福祉 社会の理解A 社会の理解B 卒業研究 I 卒業研究 II						
専	教授	高橋 敏(67)	平成21年4月	憲法と現代 キャリア支援 I						平成22年3月 高橋敏教授自己都合により退職 (22)
専	教授	中田健次郎(74)	平成21年4月	健康科学概論 健康管理概論 健康トレーニング論 健康トレーニング実習 健康福祉総合演習						
専	教授	戸田裕司(45)	平成21年4月	中国語A 中国語B 外国史 比較文化論					教養講読A 教養講読B 教養講読C 教養講読D キャリア支援 I	担当科目の追加 (22)
					専	教授	末廣貴生子(64)	平成22年4月	人間の尊重と自立 介護の基本 I 介護の基本 III 生活支援技術A 生活支援技術E 介護過程A 介護過程B 介護総合演習A 介護総合演習B 介護総合演習C 介護総合演習D 介護福祉実習 I 介護福祉実習 II 介護福祉実習 III	所属学科の異動 (22)
					専	教授	田崎裕美(52)	平成22年4月	家政学 子どもと食生活A 子どもと食生活B 健康と生活環境 健康と食生活 健康と食生活演習 健康と生活実習 健康福祉総合演習	所属学科の異動 (22)
専	講師	武藤裕子(55)	平成21年4月	相談援助演習A 相談援助演習B 相談援助演習C 相談援助演習D 相談援助演習E 更生保護と就労支援 卒業研究 I 卒業研究 II	専	准教授	武藤裕子(55)	平成21年4月		昇格 (21)
専	講師	向山 守(44)	平成21年4月	英語A 英語B 英語C 英語D	専	准教授	向山 守(45)	平成22年4月	教養講読A 教養講読B 教養講読C 教養講読D キャリア支援 I	昇格 (22) 担当科目の追加 (22)
専	講師	齋藤 剛(35)	平成21年4月	生活と健康 スポーツ実習 レクリエーション実習 健康スポーツ実習A 健康スポーツ実習D 健康生理学 健康と代替医療 生涯スポーツ演習 健康福祉総合演習	専	准教授	齋藤 剛(35)	平成21年4月		昇格 (21)
					兼任	講師	林 恵詞(31)	平成22年4月	健康スポーツ実習A	新規採用 (22)

					専 講師	船 城 秀 樹 (60)	平成22年4月	障害の理解A 障害の理解B 介護の基本II 生活支援技術B 生活支援技術F 生活支援技術I 生活支援技術J 介護総合演習A 介護総合演習B 介護総合演習C 介護総合演習D 介護福祉実習I 介護福祉実習II 介護福祉実習III	所属学科の異動(22)
					専 講師	杉 田 與 志 子 (62)	平成22年4月	発達と老化の理解A 発達と老化の理解B こころとからだのしくみA こころとからだのしくみB 生活支援技術C 生活支援技術D 介護過程C 介護過程E 介護総合演習A 介護総合演習B 介護総合演習C 介護総合演習D 介護福祉実習I 介護福祉実習II 介護福祉実習III	所属学科の異動(22)
					専 講師	中 野 一 茂 (43)	平成22年4月	人間関係とコミュニケーション コミュニケーション技術A コミュニケーション技術B 生活支援技術B 生活支援技術D 生活支援技術E 生活支援技術H 介護総合演習A 介護総合演習B 介護総合演習C 介護福祉実習I 介護福祉実習II	新規採用(22)
					専 助教	前 川 有 希 子 (45)	平成22年4月	生活支援技術F 生活支援技術G 介護総合演習A 介護総合演習B 介護総合演習C 介護福祉実習I 介護福祉実習II	昇格(22)
兼任	教授	森 孝 宏 (50)	平成21年4月	心身の健康	兼任 講師	瀧 澤 弘 光 (49)	平成22年4月	心身の健康	新規採用(22)
					兼任 教授	鈴 木 武 幸 (62)	平成22年4月	社会福祉援助技術現場実習指導 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術演習II	
兼任	教授	張 昌 鎬 (52)	平成21年4月	現代社会と福祉A 現代社会と福祉B 相談援助の基礎と専門職A 相談援助の基礎と専門職B 相談援助の倫理と方法A 相談援助の倫理と方法B 相談援助演習A 相談援助演習B 相談援助演習C 相談援助演習D ケアマネジメント論A ケアマネジメント論B 卒業研究I 卒業研究II					
					兼任 教授	小 田 部 雄 次 (56)	平成22年4月	日本史 日本現代社会論 日本現代文化論 日本事情A(留学生対象) 日本事情B(留学生対象) 日本近代福祉論 教養講義A 教養講義B 教養講義C 教養講義D キャリア支援I	所属学科の異動(22)
兼任	教授		平成22年4月	高齢者福祉サービス 介護福祉 相談援助演習B 相談援助演習C 相談援助演習D 相談援助演習E 相談援助実習指導 相談援助実習	兼任 教授	中 野 い ず み (52)	平成22年4月	高齢者福祉サービス 介護福祉 相談援助演習A 相談援助演習B 相談援助演習C	開設当初より平成22年4月からの専任教員採用予定(21) 新規採用(22)
兼任	准教授	相 原 眞 人 (52)	平成21年4月	児童・家庭福祉サービス 相談援助演習A 相談援助演習B 相談援助演習C 相談援助演習D 相談援助演習E 相談援助実習指導 相談援助実習 子ども家庭福祉 卒業研究I 卒業研究II					

兼任	講師	石 光 和 雅 (57)	平成21年4月	保健医療サービス 相談援助実習指導 相談援助実習								
兼任	講師	岡 澤 裕 子 (39)	平成21年4月	統計学の基礎 自然科学の基礎 情報リテラシー								
兼任	講師	岩 井 宏 (46)	平成21年4月	コンピュータシステムA コンピュータシステムB 図形画像処理演習A 図形画像処理演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	兼任	准教授	岩 井 宏 (46)	平成22年4月				昇格 (22)
兼任	講師	横 溝 一 浩 (44)	平成21年4月	ボランティア論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ								
兼任	助教	三 岳 貴 彦 (31)	平成21年4月	相談援助演習A 相談援助演習B 相談援助演習C 相談援助演習D 相談援助演習E 相談援助実習指導 相談援助実習	兼任	助教	三 岳 貴 彦 (31)	平成21年4月	卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			担当科目の追加 (21)
兼任	講師	中 野 元 恵 (56)	平成21年4月	健康スポーツ実習B 健康スポーツ実習C								
					兼任	講師	山 田 泰 寛 (32)	平成22年4月	健康スポーツ実習D			新規採用 (22)
兼任	講師	酒 井 俊 郎 (48)	平成22年4月	発育・発達論								
兼任	講師	花 岡 清 美 (31)	平成23年4月	健康と代替医療								
兼任	講師	杉 山 康 司 (45)	平成23年4月	機能解剖論								
兼任	講師	谷 口 正 和 (47)	平成23年4月	生涯スポーツ演習								

(注) ・設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢を、「変更状況」には平成22年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備 考
教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	
8	0	6	1	15	0	7	3	3	1	14	0	
(5)	(0)	(3)	(0)	(8)	(1)	[△1]	[3]	[△3]	[-]	[△1]	[-]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

5 教員組織の状況

<社会福祉学部>「共通」

(1) 担当教員表

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	加藤 一夫 (67)	平成21年4月	国際社会と政治						
兼任	教授	森 孝宏 (50)	平成21年4月	人体の構造と機能及び疾病						
兼任	教授	小田部 雄次 (56)	平成21年4月	日本史 日本現代社会論 日本現代文化論 日本事情A(留学生対象) 日本事情B(留学生対象) 日本近代福祉論	兼任	教授	小田部 雄次 (56)	平成22年4月	教養講読A 教養講読B 教養講読C 教養講読D キャリア支援 I	平成22年4月から教養教育の充実を図るため、科目を追加(22)但し、3・4年配当科目
兼任	准教授	角谷 裕子 (59)	平成21年4月	英語A 英語B	兼任	准教授	角谷 裕子 (60)	平成22年4月	英語A 英語B 教養講読A 教養講読B 教養講読C 教養講読D	平成22年4月から教養教育の充実を図るため、科目を追加(22)但し、3・4年配当科目
兼任	准教授	牧野 茂 (60)	平成21年4月	文学A 文学B 日本語表現法A 日本語表現法B	兼任	准教授	牧野 茂 (61)	平成22年4月	文学A 文学B 日本語表現法A 日本語表現法B 教養講読A 教養講読B 教養講読C 教養講読D	平成22年4月から教養教育の充実を図るため、科目を追加(22)但し、3・4年配当科目
兼任	准教授	清水 将一 (54)	平成21年4月	相談援助演習A 地域福祉の理論と方法A 地域福祉の理論と方法B 福祉行財政と福祉計画	兼任	准教授	清水 将一 (54)	平成21年4月	相談援助演習A 地域福祉の理論と方法A 地域福祉の理論と方法B 福祉行財政と福祉計画 相談援助演習B 相談援助演習C	担当科目の追加 (21)
兼任	講師	橋本 てる子 (40)	平成21年4月	心理学理論と心理的支援	兼任	准教授	橋本 てる子 (41)	平成22年4月		昇格 (22)
兼任	講師	岩本 勇 (45)	平成21年4月	経営管理の基礎 経営管理の応用 社会調査の基礎	兼任	講師	岩本 勇 (45)	平成21年4月	経営管理の基礎 経営管理の応用 社会調査の基礎 教養講読A 教養講読B 教養講読C 教養講読D	平成22年4月から教養教育の充実を図るため、科目を追加(22)但し、3・4年配当科目
兼任	講師	キャサリン・アン・田村 (57)	平成21年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB 英語コミュニケーションC 英語コミュニケーションD						
兼任	講師	鄭 泰元 (32)	平成21年4月	韓国語A 韓国語B						
兼任	講師	山下 隆之 (45)	平成21年4月	現代日本の経済						
兼任	講師	村瀬 正典 (57)	平成21年4月	日本国憲法						
兼任	講師	中野 偉夫 (65)	平成21年4月	スポーツ実習	兼任	講師	瀧本 厚子 (50)	平成21年4月	スポーツ実習	担当者の変更 (21)
兼任	講師	山下 秀智 (63)	平成21年4月	生命と倫理						
兼任	講師	望月 照夫 (57)	平成21年4月	簿記会計の基礎 会計学の基礎						
兼任	講師	高桑 美香 (43)	平成21年4月	会計学の基礎			後任未定			後任辞退 (21) 「会計学の基礎」は、他の担当者がいるため、変更はない。
兼任	講師	坂本 光司 (61)	平成21年4月	経営学総論						
兼任	講師	河合 修身 (64)	平成21年4月	キャリア支援 I						
兼任	講師	工藤 佐紀子 (40)	平成21年4月	キャリア支援 II キャリア支援 III						
兼任	講師	中澤 秀一 (41)	平成21年4月	生活保護						
兼任	講師	水越 三佳 (40)	平成21年4月	児童思春期精神保健						
兼任	講師	大石 貴美子 (47)	平成21年4月	小児保健A 小児保健B						
兼任	講師	石田 悦子 (60)	平成21年4月	福祉対話技法A 福祉対話技法B 福祉対話技法C 福祉対話技法D						
兼任	講師	宮下 修一 (37)	平成21年4月	権利擁護と成年後見制度	兼任	講師	五味 保彦 (56)	平成22年4月	権利擁護と成年後見制度	担当者の変更 (22)
					兼任	講師	奈良 修三 ()	平成22年4月	福祉サービスの組織と経営	担当者の変更 (22)

- (注) ・設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢を、「変更状況」には平成22年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
()	()	()	()	()	()	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)